

議会だより おかがき

No.100 9月定例会 平成26年10月25日発行

平成25年度 歳入歳出決算認定について ● 2～3
町政を問う ● 7～9
一般質問



おかげやまぐー○○号



平成25年度 一般会計・特別会計・公営企業会計決算

第3回定例会は9月5日から9月19日までの15日間の日程で開催され、平成25年度一般会計決算認定を含む議案15件、発議2件などについて慎重審議し議決しました。



- 議案第34号 岡垣町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例等の一部を改正する条例
- 議案第35号 岡垣町保育所設置条例の一部を改正する条例
- 議案第36号 岡垣町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 議案第37号 岡垣町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
- 議案第38号 岡垣町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
- 議案第39号 平成26年度 岡垣町一般会計補正予算(第2号)
- 議案第40号 平成26年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- 議案第41号 平成25年度 岡垣町一般会計歳入歳出決算認定について
- 議案第42号 平成25年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第43号 平成25年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第44号 平成25年度 岡垣町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 議案第45号 平成25年度 岡垣町水道事業会計利益の処分及び決算認定について
- 議案第46号 平成25年度 岡垣町下水道事業会計決算認定について
- 議案第47号 新たに生じた土地の確認について
- 議案第48号 新たに生じた土地の確認に伴う字の区域の変更について
- 報告第6号 平成25年度決算に基づく健全化判断比率等の報告について
- 報告第7号 平成25年度 公益財団法人岡垣サンリーアイ文化スポーツ振興財団決算報告について
- 報告第8号 専決処分の報告について -平成25年度(仮称)岡垣町観光拠点施設新築工事請負契約の変更について-
- 報告第9号 専決処分の報告について -上畑・海老津線道路災害復旧工事請負契約の変更について-
- 報告第10号 専決処分の報告について -岡垣東中学校グラウンド法面災害復旧工事請負契約の変更について-
- 報告第11号 和解及び損害賠償の額の決定に係る専決処分の報告について
- 請願第1号 手話言語法制定を求める意見書の提出を求める請願書
- 陳情第3号 地域老人クラブ補助金に関する陳情書
- 陳情第4号 軽度外傷性脳損傷の周知、及び労災認定基準の改正などを求める陳情
- 発議第2号 手話言語法(仮称)の制定を求める意見書
- 発議第3号 軽度外傷性脳損傷に関わる周知及び労災認定基準の改正などを要請する意見書

■ 全員協議会の議題

- ① 岡垣町の将来人口推計について
- ④ 新行政区の設定について
- ② ため池水面の貸付(太陽光発電設備)について
- ⑤ 清涼苑等について
- ③ J R海老津駅南側(海老津地区)
民間開発事業の進捗状況について



岡垣町観光ステーション北斗七星



岡垣東中学校のり面工事

平成25年度 岡垣町各会計別決算概要

(単位：円)

区 分		収 入 額	支 出 額	差 引 額	
一 般 会 計		9,813,672,944	9,405,932,702	407,740,242	
特 別 会 計	国民健康保険事業	3,880,905,350	3,907,657,228	△26,751,878	
	後期高齢者医療	503,843,229	490,226,851	13,616,378	
	住宅新築資金等貸付事業	2,985,056	770,178	2,214,878	
企 業 会 計	水道事業	収益的収支	466,279,492	458,881,734	7,397,758
		資本的収支	156,900,000	335,101,601	—
	下水道事業	収益的収支	738,494,353	696,634,689	41,859,664
		資本的収支	656,491,800	966,050,588	—

※企業会計は、税抜き金額です。資本的収支の不足額は、公営企業に留保している資金で補っています。

審査意見書より(抜粋)

今後も地方債現在高が増加することが予想され、安定した財政運営を行うためには、町税をはじめとする自主財源の確保を図るとともに、経常的経費のさらなる圧縮を進める必要がある。

このような状況の中、「事務事業見直し・行政組織改編実行計画」や外部評価に基づき、今年度実施された保育所民間移譲や今後実施予定の情報プラザ用途見直し等公共施設管理運営の見直しを進めることにより、経常経費の削減が期待される。その他、庁舎横の宅地造成工事等の開発が進められることで、自主財源の増が期待される。(中略) 今後、これらを着実に実行することで、より効果的かつ効率的な行財政運営への転換を図るとともに、自主財源の確保及び将来的な発展性を求めたまちづくりを実現するため、中長期的な視野に立ち、経済性・効率性に配慮し効果的な事業の遂行に留意され、より一層健全な財政運営に努力されたい。

決算議会審議状況(連合審査会：主な質疑内容)

【総括】

- ・町税減収とアベノミクス効果
- ・自主財源の確保
- ・海岸侵食対策、松枯れ対策
- ・実質収支額について
- ・臨時財政対策債
- ・地方創生にどう対処するか

【歳入】

- ・納税への働きかけ
- ・基地関係の交付金について

【歳出】

- 高齢者福祉
 - ・老人憩の家運営
 - ・敬老祝い金支給形態変更について
- 子育て・健康づくり
 - ・こども未来館の運営
 - ・子ども・子育て支援事業計画
 - ・健康づくり
- まちづくり・インフラ
 - ・JR海老津駅南側道路等整備事業
 - 継続費通次繰越について
- 生涯学習
 - ・文化財保存展示施設管理運営事業

○農林水産

- ・農業基盤整備促進事業
- ・就農支援
- ・森林保全対策
- ・漁業振興対策

○商工

- ・消費者生活安定事業
- ・えびつかぐや灯籠まつり
- ・企業誘致
- ・観光推進

平成25年度 岡垣町一般会計 歳入歳出決算認定について

反対

広渡 輝男 議員

平成25年度一般会計決算は、町民生活に直結する福祉関連予算が執行されており認定すべきと評価する。しかし、海老津駅の乗降に南側から直接利用できない自由通路工事のJR委託費2億6千8百万円が次年度へ繰り越されている。自由通路が果たす役割について、「税金の費用対効果」から大いに疑問である。また、町民5,300人の「JR海老津駅南側道路等整備事業の一部凍結並びに縮小見直しを求める陳情」は公共事業の費用対効果を求めたものであり、この本旨に即してまちづくりを進めるべきである。以上のことから決算認定には反対である。

西 美千代 議員

平成25年4月に、地域交流センターが開設された。ボランティアセンターは協働のまちづくりを進める上で、多くの住民がまちづくりに関心を持ち、さまざまなボランティア活動へ参加する機会を広げていくための拠点として重要な役割を担っている。課題は多々あるが、今後の取り組みに期待する。JR海老津駅南側道路等整備事業費に関しては、自由通路の工事が今年度から始まった。平成25年度一般会計予算では、自由通路は防犯面での不安の声が依然としてあることとで反対をした。よって決算認定については反対する。

下川路 勲 議員

人口減少の課題対応で、定住人口や交流人口の増加に取り組んでいるが、税収は、総所得額及び法人分の減少で、町税全体は厳しい状況である。自主財源約40%、依存財源約60%、この依存財源比率は類似団体の構成比率が約53%なのに比べれば良くない。高齢化率は確実にふえ、我が町は近隣の町より高く29%ほどとなっている。JR海老津駅南側道路等整備事業に莫大な税金をかけ、自由通路と階段をつくることは、財政・治安の両面から危険この上ないとの考えから、認定に反対する。

平山 弘 議員

小中学校の耐震化と公共施設の耐震診断、妊婦検診、ワクチン無料接種は評価する。入院の場合の中学校卒業までの助成、入院・通院の場合の小中学校卒業までの医療費助成や学童保育の拡充なども評価する。一方で、町立東部保育所の民間移譲、難病患者見舞金の廃止、生活保護世帯への高校入学資金や益暮れの貸付制度は廃止され、弱い立場の人の負担がふえた。JR海老津駅南側道路等整備事業費は消費税増税や資材高騰等で2億8千万円に膨らんでいる。住民の厳しい暮らしに目を向け、防災や福祉、教育に予算を充てることを求め、認定に反対する。

賛成

太田 強 議員

財政構造が依存財源により左右される中、「今できること、今しなければならぬこと、今しかできないこと」をモットーに、第5次総合計画に掲げたまちづくりに沿って、取り組んでいる。

さらに総合計画上の施策評価が分かりやすく説明され、評価に基づく今後の取り組みについても明確にされており、次世代につながるまちづくりの考えが十分に織り込まれていると判断し評価する。特に、学童保育所の整備や内浦小学校、吉木小学校のグランド芝生化に取り組みされたことは特筆すべきものと思う。

神崎 宣昭 議員

町制50周年が終わり、町制100周年に向かって、大きな一歩を踏み出すにふさわしい、多岐にわたり幅広くきめ細やかに対策を立てた取り組みを高く評価する。

町の人口減少、自主財源の確保などの課題解決のため、企業誘致、定住促進対策、JR海老津駅南側開発などの事業を着実に実行し、まちの魅力を町内外に積極的に発信して、活力ある元気な若者が集う、エネルギーシユな岡垣になることを期待し賛成する。

横山 貴子 議員

自立支援事業費、子ども医療費の拡充に伴う民生費の増、JR海老津駅南側道路等整備事業等土木費の増、町道の土砂災害復旧費、岡垣中学校グラウンドのり面崩壊に伴う災害復旧費など、歳出増につながる事業が多くあつた中この決算となつたことは、職員が町財政の健全な運営に努めることを共通課題とし取り組んだ結果と評価する。自主財源は年々減少し、交付税等の依存財源に財政運営は影響を受ける環境になつていく。安定した財政運営を行うには自主財源を確保できる環境、将来に発展性を期待できる財政運営に取り組んでいたことを要望し賛成する。

小野 元次 議員

第5次総合計画に掲げる「輝き・安全安心・心の豊かさ」の実現に向けて、各分野で積極的に施策が展開されている。また、各財政指数は、良好な財政構造のバランスを保持し、弾力性を持った運営がなされており、県下でも上位クラスの財政力を保っている。

波津海岸等の海岸侵食や三里松原の松枯れ対策、災害復旧工事、海老津駅周辺環境整備プロジェクト、矢矧川下流域の改修、うさぎ坂55の造成整備、観光事業の推進が図られた。また、学校校舎・体育館の耐震化や校庭芝生化を推進し、心豊かに学ぶための環境づくりが行われている。



復旧された町道上畑・海老津線



建築が進む「うさぎ坂55」

町政を問う 一般質問

下川路

行政と地域の連携は

町長

協働のまちづくりをこれからも進めたい



下川路 勲 議員

下川路 岡垣町の高齢化率は何%ですか。

町長 29%です。

下川路 その数字は近隣の町と比較してどうなのですか。

町長 郡内では最も高い数字となっております。

下川路 比較的若い高齢者60歳から70歳の方の人数と男女比をお尋ねします。

町長 約5,100人で、男性が約2,400人、女性が約2,700人です。

下川路 高齢者の活躍の場を具体的に教えてください。

町長 シルバー人材センターでは317人の登録があり、平均年齢は約72歳で、最高齢者は86歳です。



下川路 他の活躍の場は。

町長 若潮学級等の公民館講座を多くの高齢者の方が受講し、そこで学んだことを活かして、地域活動やボランティア活動に進まれる方も多いと考えます。

下川路 行政と地域の連携は。

町長 高齢者の方にはこれからも地域づくりを支えていただき、若い世代の方には地域づくりに関心を持っていただ

曾宮

将来の都市基盤は

町長

住民の声を聞きながら
緊急性・必要性を考え対応する



曾宮 良壽 議員

曾宮 「地方創生」が新内閣で打ち出されました。

町の地方と言ってよい波津地区の100年後の都市基盤をどう構想されますか。

町長 人口規模、地形・地質から抜本的には難しい。実現性を考え、生活道路の整備について、住民の声を聞きながら、緊急性・必要性を考え対

けるよう地域と行政が連携して取り組み、協働のまちづくりをこれからも継続して進めていきたいと考えます。

下川路 岡垣町観光ステーション北斗七星はPR不足では。

町長 観光協会のホームページ

ジヤフェイスブック、各種メディアと連携してPRし、問い合わせも着実に増加しています。今後はこれまでの取り組みに加え、施設のパンフレットを町内各自治区に配布するなど、広く利用を呼びかける予定です。

応じたいと考えています。

曾宮 海老津駅徒歩通勤・通学圏内の都市基盤の整備について確認します。

町長 歩行者の安全性を考え、歩道の整備を進めてきましたし、現在は町道吉

木・海老津線の歩道整備に取り組んでいます。高齢化が進む中、人口構造の変化が最も影響する地域であるとも言え、一定数の空き家が生じることは避けられないと考えます。現在、定住促進事業に取り組んでおり、今後の人口予測と公共施設等総合管理



スーパー・イオン遠景

計画の策定も考慮しながら、ハード・ソフト両面から検討すべきと考えます。

曾宮 農用地整備計画の変更までして誘致をサポートした黒山地内(イオン周辺)の都市計画の進み具合・進め方について確認します。

町長 民間による宅地開発を想定しながら、約9ヘクタールを用途変更しました。本年度からは、国道3号と495号を結ぶ県道整備の測量が着手されるなど、事業の具体化が進み、今後の開発に期待ができます。県道の整備状況とあわせて土地利用の促進を図りたいと考えます。

横山

学校教育施設の暑さ対策は早急に

町長

扇風機設置の検討を進める



横山 貴子 議員

横山 学校教育施設の環境整備、暑さ対策について伺います。このことは、以前からの

一般質問において、大きな経費を伴うエアコン設置より、まず扇風機での対応をすべきと要望してきました。学校の暑さ対策として、来年度から扇風機が稼働できる環境を望みます。

町長 扇風機を設置した場合、将来的にエアコンを設置しても無駄にはなりませんし、費用もエアコン程はかかりません。身体への弊害もないため、来年4月から扇風機を設置する方向で検討を進めます。

横山 教育の多様化、ゆとり教育が進められていた教育改

革は、現在では「確かな学力」

を育むことが重要な政策課題の一つとなっています。オープン型教室は、各自治体においてさまざまな課題をふまえた検討がされているようです。山田小学校のフルオープン教室のあり方について町の考えを伺います。

教育長 校舎改築後、特別支援学級が設置され、開放的な教室では対応が難しい場合や、高学年が授業に集中しやすい環境をつくるためなどの



教室に設置された扇風機

状況に応じて、可動式扉・固定式扉を設置してきました。今後は、児童の授業に向き合う集中の度合いや、授業への支障、学習環境の現状と学校現場の声を確認し、教育委員

西

発達障がいについて

会として一定の方向を出していきたいと考えています。○ほかに地域包括ケアシステムの構築の取り組み状況について質問しました。

町長

早期発見・支援に努めている



西 美千代 議員

西 発達障がいは、性格・しつけの問題・愛情不足などの心の問題とは違い、脳機能

に何らかの課題があることが原因で起こるのではないかと言われています。早期発見が重要だと思いますが、岡垣町における乳幼児健診はどのようになっていますか。

町長 母子保健法に基づく健康診査では保健師、助産師、保育士など多職種による相談

体制によって、発達段階に適切な保健指導や育児支援を行うことで早期発見につなげています。

西 明らかに発達障がいだと思われる子どもや、保護者に対する相談体制はどのようになっていますか。

町長 臨床心理士による個別相談を2歳児健康相談、3歳児健康診査、子どもの発達相談で実施し、状況により専門機関へつなぎ、継続的に子どもの状況確認と保護者の相談に応じています。

西 3歳児健診以降、小学校入学までの間で、幼稚園などでの集団行動の中で気づく



こども未来館

ことも多いと言われています。5歳児健診または5歳児相談を実施すべきと思いますが。

町長 5歳児健診は全国で9.1%の自治体が実施していますが、専門医やスタッフの確保が難しい状況です。岡垣町では、相談や療育につなげる体制の充実により、幼稚園や保育所などのほか、関係機関と連携を図っていきます。

西 発達障がいがあることで一番困っているのは、子ども本人です。さらなる早期発見・早期療育、相談体制の充実に取り組みべきだと思います。**町長** 発達障がいについて情報発信に努め、親や関係者の適切な理解により、早期発見、早期療育に努めたいと思っております。

広渡

駅周辺開発の促進を求める

町長

事業推進方策に基づき進める



広渡 輝男 議員

広渡 海老津白谷線の道路等の整備を最優先することで、駅南側の開発等の早期実現につながるとした取り組みが平成27年度で完了を迎えます。海老津白谷線の道路整備の状況とJR海老津駅南開発の進捗状況をお尋ねします。

町長 現在海老津白谷線や自由通路の整備について平成27年度の完成へ向けて継続的に実施しています。また並行して、民間による住居系開発としてJR鹿兒島本線と旧国道3号線までの約4ヘクタールについて民間開発事業の公募を行っているところです。

広渡 中心市街地活性化の視点からも重要な施策として区



海老津駅周辺

画整理事業の取り組みが行われているが、権利が複雑な地区でもあり、町による課題の整理と推進方針を明確にすることが必要だと思いますが。

町長 中心市街地の活性化は、計画策定から10数年経過する中で、具体的な進捗が見られません。このような状況を打開するため、課題に確実に対応しながら中心市街地活性化に取り組んでいきます。

平山

基準見直しによる就学援助制度への影響は

町長

国が統一して行うべき



平山 弘 議員

広渡 町の公の施設の管理運営について指定管理者制度が導入されてから8年が経過しており、住民サービスの向上と行政コストの削減などの成果がどのように検証されているのかお尋ねします。

町長 各指定管理者の努力・工夫により住民サービスの向上につながっていると認識しています。指定管理者制度の趣旨を踏まえ、今後も適切な制度の運用に努めていきます。

平山 憲法、教育基本法、学校教育法に基づく就学援助制度が、生活保護基準の引き下げにより利用できなくなるとい影響が出ています。岡垣町の実情はどうですか。

教育長 昨年度、岡垣町におけるこの制度の利用者は小学生で362名でした。このうち生活保護基準の引き下げにより3世帯7名に影響がで

ました。

平山 政府も文部科学省も影響が出ないように各自治体に要請しています。全国の76%の自治体は、影響が出ないよう対応しています。郡内では、遠賀町と水巻町が同様の対応をしていますが、岡垣町も改善することを求めます。

町長 生活保護の生活扶助基準が見直され、就学援助制度に影響を及ぼすことは承知しています。この就学援助制度は、義務教育に係る低所得者世帯への支援制度ですので、本来、国が統一して行うべきだと思います。したがっ



山田小学校

て自治体が個別に対応すべきではないと考え、是正対応はしません。

平山 暑さ、寒さの学習環境の改善だけでなく、PM2.5対策としても小中学校の教室にエアコン設置に向けての検討を求めます。近隣では北九州市、芦屋町、水巻町、中間市も設置を決めています。

町長 太陽光発電システムとあわせたエアコンの設置を検討しましたが、実施を見送ることを決めました。今後も引き続き、扇風機の設置など、教室の暑さ対策への検証を行っていきます。

○ほかに子ども医療費の助成拡充について質問しました。

委員会視察研修・活動レポート

議会運営委員会

日時
平成26年7月22日～24日

視察先
沖縄県 読谷村
北中城村
南風原町

視察の目的
・議会基本条例
・夜間議会・反問権
・議会報告会

当委員会は、議会運営のあり方・議会改革及び議会活性化を目的に、先進地として取り組んでいる議会へ視察研修を行いました。

読谷村議会は、北海道栗山町の議会基本条例を参照して沖縄県で初めて議会基本条例の制定を行い、県内の近隣議会もこれに倣って制定されたとのことで、沖縄の各町村の議会活性化の原点となっています。

夜間議会の開催は、議会への住民の関心を高めるため、3月定例会一般質問の折に導入されていましたが、定例会ごとの開催については、その効果を検証している段階でした。また、議会報告会などの開催の義務を議会基本条例に織り込んで議会活性化に取り組んでいます。



南風原村



北中城村



読谷村

総務産業常任委員会

日時
平成26年7月22日

視察先
芦屋町観光協会
JA北九西部営農センター

視察の目的
・観光振興
・潮風キャベツのブランド化

当委員会は、岡垣町の観光振興や農業振興の活性化に向けた方策検討を行うため、先進地を視察しました。

芦屋町は、海(自然)と幸(海産物)を売りにした統一ブランドをホームページ情報として観光協会が発信していました。今後、恵まれた響灘の観光資源を生かす広域的な連携策を協会や行政が仕掛けて行くべきと感じました。

若松の特産品「潮風キャベツ」は、白菜栽培やスイカ栽培の農産地育成の基盤整備から生まれた地域ブランドでした。消費都市近郊の農業地益の強みを生かして実践する就業農家の專業意識と農家の期待に応えたJA職員の営農指導も必須不可欠であり、人間力の重さを感じました。



付託案件現地調査



JA北九



芦屋町観光協会

議会の動き

6月定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議 題
6月18日	文教厚生(協)	町老連との意見交換会事前協議
6月23日	議会広報	議会だより編集
6月24日 ～26日	文教厚生	行政視察研修 (長野県茅野市・駒ヶ根市・岡谷市)
7月1日	議会広報	議会だより編集
7月2日	文教厚生(協)	町老連との意見交換会
7月2日	総務産業	視察研修 (芦屋町観光協会・JA北九)
7月8日	議会広報	議会だより編集
7月22日 ～24日	議会運営	行政視察研修 (沖縄県読谷村・北中城村・南風原町)
8月1日	総務産業	閉会中の継続調査について
8月20日	議会運営	第3回定例会
8月29日	総務産業	閉会中の継続調査について
9月5日	本会議	9月定例議会開会 上程・委員会付託
9月5日	議会広報	議会だより編集
9月8日	本会議	一般質問(4名)
9月9日	本会議	一般質問(2名)
9月10日	総務産業	付託案件審査
9月11日	文教厚生	付託案件審査
9月12日	全員協議会	岡垣町の将来人口推計ほか
9月12日	議会運営	発議について
9月16日	連合審査会	付託案件審査
9月17日	連合審査会	付託案件審査
9月19日	本会議	9月定例議会閉会 議決・発議
9月19日	議会広報	議会だより編集

文教厚生常任委員会

日時

平成26年7月2日

内容

- 岡垣町老人クラブ寿会連合会との意見交換会
- ・ 買い物困難支援事業
- ・ 高齢者の健康づくり対策
- ・ 町老連の会員増強

昨年度より町老連では、今後大幅に増加する高齢者の買い物困難者への支援策として「やっぱあゝ岡垣」が実施する出張販売との連携を検討されてきました。事業者と連携した支援の取り組み事業(案)として提唱されている買い物困難者支援事業「御用聞き・宅配

サービス」について話し合いました。また、町老連の健康づくり事業「散歩で健康」大作戦(昨年約700名参加)が引き続き、今秋にも開催予定ですので、当委員会の課題である「健康づくり」と相まって、懇談が盛り上がりました。



意見交換会

岡垣町の

ここはどこ？

参道に大きな石鳥居。その奥に格式高い造りの立派な本殿・拝殿がある。祭神は木花開耶姫命(コノハナサクヤヒメノミコト)。相殿は高皇産霊命(タカミムスビノミコト)と神皇産霊命(カミムスビノミコト)である。神殿の裏手に腰掛石があり、参拝した人がこの石に腰掛けて安産を願えば安産・子宝に恵まれるといわれ、安産の神様として有名で、遠くからも参詣者が訪れる。なお、社の客殿は明治6年に岡垣で最初の小学校が始まった場所である。



No.99の岡垣町の「ここはどこ」の答えは、戸切区にある龍神社でした。

会議録を閲覧してみませんか



◆会議録検索システムは、議会本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。

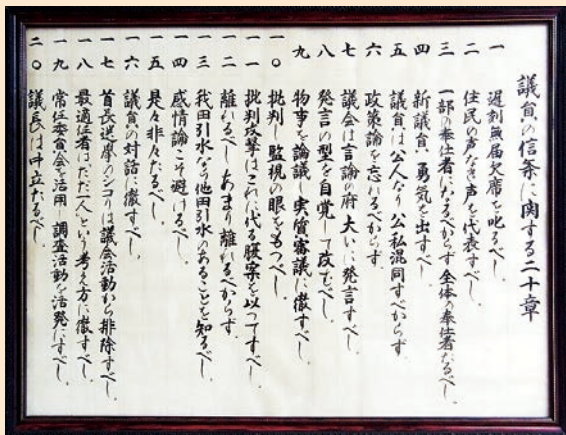
◆会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。(詳しくは議会事務局まで)

どうぞ 傍聴席へ

次の定例会は

12月5日(金)
開会の予定

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	議長
西	曾	小	横	神	安	市
	宮	野	山	崎	部	津
美	良	元	貴	宣	弘	広
千	壽	次	子	昭	彦	海
代						



議会だより100号発行に当たって
平成4年11月25日創刊から100号を迎えるに当たり、今までの「議会だより」を振り返ってみたい。町制30周年記念事業の一つとして発刊された創刊号の表紙に「議員の信条に関する二十章」なるものがある。

読めば、至って当たり前の事なのだが：不思議な感じもする。その他、7つの委員会紹介(総務常任委員会・文教厚生常任委員会・経済建設常任委員会・議会運営委員会・岡垣観光開発特別委員会・総合ふれあい公園建設特別委員会・ゴルフ場に関する調査特別委員会)と所属議員全員(18人)が顔写真付きで、年齢・当選回数・出身地・所属委員会が細かく紹介されているなど創刊号への思い入れがうかがえる。

編集も当初は議会広報委員会として発足し、現在の特別委員会になったのは平成18年3月定例会で議員発議により、広報広聴事業の一層の充実を図るため、再編された61号に記されている。過去の議会だよりを読み返して「おかがき福祉の里建設特別委員会」や「駅前開発に関する調査特別委員会」など、大きな事案に取り組む際には、特別委員会を設置し、町民の声を含め効率よく調査研究活動ができる体制で取り組んでいるように感じた。

また、海岸線侵食や三里松原の松くい虫被害は、創刊当時から問題視されていた事案で、現在へ引き継がれていることを付け加えておきたい。今後も議会の機関紙として個々の事案を読みやすく・わかりやすい紙面で発行を続けたい。

安部 弘彦